



医療法人 福慈会
デイサービス 福慈会
和歌山市和歌浦東3丁目5番地32
TEL 073-445-7712
発行課：デイサービス課
発行日 平成21年11月 1日

11月の行事予定

【作品展】 11月はデイサービスご利用者様の作品展示会日頃、デイサービスでご利用者様が、一生懸命、腕をふるってつくられた、作品の数々を展示します。

皆様も是非一度ご覧に起こし下さい。お楽しみに！

【まごころの会】11月11日（水曜日）に「まごころの会」さんが来てくれます。今回で6回目です。歌謡ショー、踊りなど午後2時から3時の予定ですお楽しみに

デイサービススタッフから皆様に

日中・朝夕の気温差が大きい季節になりました。体調に充分気をつけて下さい。また、新型インフルエンザの流行の季節です。手洗い・うがいは、忘れずに！

皆様にお願ひ

新型インフルエンザの流行のきざしがあります。デイの御利用に際して、デイのお迎え時に体温を確認させていただきます。当日お熱のある方は、デイの御利用を中止させていただきますようお願いいたします。

10月のデイサービスの様子

【なかよし会】 10月20日なかよし会の皆さんが来てくれました。琴、三味線、寸劇、歌、踊りを披露してくれました。皆さんも大合唱され時間のたつのが早く感じました。

【運動会】

10月13日、14日、15日 デイホールで運動会を開催しました。借り物競争、お菓子作りなど大きな声で皆さん声援ををし、童心に返ったようでした。



ニュース和歌山 健康Q&Aより（回答：副院長 福昭人先生）

Q：粘血便と下痢が続いたところ、潰瘍性大腸炎と診断されました。



A：潰瘍性大腸炎とは炎症性腸疾患の一種で、わが国で約10万人の患者が報告されています。遺伝子的素因に食事、感染症、腸内細菌などの環境因子が関与して、大腸の免疫異常を反応が起こり、大腸とくに直腸に潰瘍を形成します。潰瘍性大腸炎の疫学調査によると、罹患して3～7年間で25%は寛解を保ちますが、18%は慢性的症状が持続し、57%は再燃を繰り返しています。10年以上の罹患で大腸がん合併の危険度が高くなるため、早期発見には、大腸内視鏡検査が有用です。治療は

内科的治療として、5-アミノサリチル酸製剤や副腎皮質ホルモン（ステロイド薬）の内服注腸剤が一般的です。難治例には免疫調整剤として①チオプリン類②シクロスポリン③タクロリムスがありますが、薬物の血液濃度を定期的に測定して、副作用が起こらないよう厳重に注意する必要があります。白血球除去療法は、薬物が体内へ入らないという点で画期的な治療法で、有効率は60～70%程度といわれています。近い将来、抗TNF抗体療法が保険承認される見通しです。外科的治療の適応は多量出血や

大腸穿孔例で、大腸全摘となります。